

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F 兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2021年7月18日



核兵器なくそうと、恒例の平和行進 (7/10)

## 市の「行財政改革計画案」

「自治体の財政は『最小の経費で最大の効果』(地方自治法第2条第14項)が得られるよう、効率的な運営に努めることを大前提として、…」

7月7日の議会で、井上議員が、市長の「行財政改革計画案」について、「『ツマミ喰い』はいかがなものか」と指摘し批判しました。計画案では、地方自治

## 「ツマミ喰い」は行儀が悪い

自治法が引用されている。しかし実際の地方自治法は下のようになっています。住民の福祉の増進に

## 地方自治法第2条第14項

「地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」

「夫は妻にウソは言っていない」と以前のこのニュースにも書きました。こういう類の表現が多いのも、今回の市の計画案の特徴です。しかしもっと問題なのは、計画案のこの後続く「サービステル」の水準の均衡が原則との記述です。次号にて指摘します。

## 補助金の要件緩和が実現

コロナ対策での器材購入や事業継続の補助金等の費用の一部を補助する「再起支援補助金」の要件緩和が実現しました。以前との比較で「売り上げ50%以上減少」が要件で30%以上減少「も対象とされました。事業者の

切実な声が世論を広げ、井上議員も、「一か月50%減少が大変だが、49%減少が数か月続くのも大変だ」と、ずっと要件緩和を求めてきていました。

## 井上議員の訴え

「市長が、財政危機と言って、国保料や保育料、学童保育利用料、市営住宅家賃などの値上げを計画しています。敬老乗車証対象年齢を

## 協力金申請を忘れずに!! 飲食店の夜の営業時間短縮の要請内容

緊急事態			まん延防止等重点措置	営業時間の短縮要請
9期	第9期の延長 5/12~31	第9期の再延長 6/1~20	6/21~7/11	7/12~8/1
お酒カラオケ休業 店は8時迄			酒7時迄 店8時迄	店は9時まで 酒は8時半まで
申請	~7/8	7/1~ 8/2	7/14~ 9/3	8/2以降予定 協力金2.5万~7.5万円

70から75歳に引き上げ、水道代などもやがて値上げ、ヘルスピアは廃止も含めて検討とされています。①財政危機の責任は過去と今の市長らです。責任のない市民へのしわ寄せは筋違い。②市内高速道路など大型事業のムダ遣いへの反省

## 地下鉄九条駅エレベーター工事のお知らせ

8月17日(火)~9月16日(木)頃まで、設備改善工事の為、使えません、との交通局からの報告です。①4番出入口の改札階~地上、②ホーム~改札階、の2基ともです。車いす利用の方などは、事前に駅へ連絡いただければ(電話:681-7593)、最寄り駅への送迎など対処しますとのこと。

が必要ですが、市長は今後も北陸新幹線や芸大移転工事などを推進。③財政危機の原因である国の自治体イジメの政策への批判抜きに市民へのしわ寄せはあり得ない。市長は国言ひなりません。しかしこれを逆に言えば、国の政治を変えれば市の財政危機も改善の道が開かれると、とうこと。市長への運動とともに、野党共闘で政権交代を実現しましょう」